

悪性リンパ腫に対して CHOP 療法（もしくは R-CHOP 療法）を受けられた方へ

### 1. 試料・情報の利用目的

悪性リンパ腫において標準的な治療の一つである CHOP 療法（もしくは R-CHOP 療法など類似の治療を含む）を受けた方の心機能の変化について、発症時期や程度、および心毒性を早期発見するための適切な検査方法等について検討します。

### 2. 試料・情報の利用方法

2019 年 4 月から 2020 年 9 月までの間に、当院で CHOP 療法を含む化学療法を実施したすべての悪性リンパ腫患者さんが対象となります。対象患者さんの治療前後の心臓超音波検査などを調査します。治療に関する介入はなく、人体試料の採取もありません。カルテ情報を元に、統計学的手法を用いて、心機能低下に影響を及ぼす因子について解析を行います。当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、研究実施期間は 2021 年 3 月から 2022 年 3 月までを予定しています。

### 3. 匿名化について

収集する情報は、個人情報がかからないよう匿名化されます。匿名化された情報をもとに解析します。その管理は当院の個人情報の取り扱いのルールに沿って行います。また必要な場合は、匿名化された情報から個人が識別できるようになっていますが、その照合を行う方法は外部に漏れることのないよう厳重に保管されます。

### 4. 利用・提供する情報

生年月日、年齢、性別、診断病名、診断日、診断時採血検査データ、診断時心臓超音波検査結果、治療開始前併存症、治療方法、治療効果、予後、再発の有無など。

### 5. 研究対象者又は代理人の求めに応じて、情報の利用を停止する方法

本試験不参加や参加取りやめを希望される方は、担当医もしくは研究責任者に申し出てください。本研究責任者へ連絡され情報はすべて削除されます。その場合も患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

研究責任者：名古屋記念病院 血液・化学療法内科 粥川 哲

名古屋市天白区平針 4 丁目 3 0 5 番地、0 5 2 - 8 0 4 - 1 1 1 1